

2009年3月16日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・田中 茂
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494



V4に輝いた⑥大同特殊鋼・末松④オムロン・藤井

大同特殊鋼、オムロンが4連覇を達成！

～第33回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP プレーオフ』～

第33回日本ハンドボールリーグ『ANA CUP プレーオフ』は3月14、15日に東京・駒沢体育館にレギュラーシーズンの男子上位4チーム、女子3チームが参加して行われ、男子・大同特殊鋼、女子・オムロンとともに“頂上決戦”制して4連覇を達成、高木尚（大同）と東濱裕子（オムロン）が最高殊勲選手賞に輝いた。優勝した両チームは中国で開かれる第6回東アジアクラブ選手権（男子=4月24～29日・蘇州、女子=4月24～30日・常州）に出場する。

男子決勝は大同特殊鋼（リーグ1位）と大崎電気（リーグ2位）が激突。大崎が太田の速攻、岩永の7mスローで先行すると、大同も白のミドルで応戦、開始5分3-3と互角の滑り出しとなった。試合が動いたのは8分過ぎ、末松の7mスローによる2得点でリードを奪った大同が徐々にペースを握り、シュートリバウンドを拾った富田の執念のゴールや16分過ぎから白に代わって起用された左腕・李が切れ味鋭いジャンプシュートを連発、守護神・高木の再三に渡るファインセーブもあって前半を17-9と大量8点リードで折り返した。

後半に入ると大同が岸川、李の強打で先行したのに対し、大崎もエース宮崎の強烈なミドルシュートや東のポストシュートなどで追撃を開始、後半から仕掛けた4-2ディフェンスで大同の攻撃リズムを崩しにかかり、9分過ぎからの6連取で14分21-23と一気に点差を縮めた。しかし、ここからタイムアウトで態勢を整えた大同は、両サイドを広く使った攻撃に切り替えて武田、山城らで加点、終盤には途中出場の地引がポスト富田への好アシストや自らのサイ

ドシュートで貴重な追加点を奪い、岩永の速攻などで必死に粘る大崎の追撃を振り切って4年連続13回目の優勝を飾った。

女子決勝はオムロン（リーグ1位）が、準決勝でソニーセミコンダクタ九州（リーグ2位）を退けた北國銀行（リーグ3位）と対戦した。先制はオムロン・坂元のポストシュート。その後もオムロンは洪のスカイブレーや藤井のミドルシュートなどで前半23分13-6と大量リード。果敢に前に出る北國ディフェンス陣の背後をつくオムロンの素早いパスプレーを多用した攻撃が光った。一方、初優勝を狙う北國も譲らず、レギュラーシーズン得点王に輝いた上町を中心に、宮前のサイドシュートや横嶋の速攻などで28分までに6連続の得点を奪い、12-13と1点差まで追い上げて前半を終了した。

後半に入り、北國は上町のミドルシュートで同点に追いついたが、オムロンはここから洪、東濱の連打で再びリードを奪うと、3分過ぎからは坂元のポストプレーに端を發して東濱のスカイブレーや藤井のミドルシュートなどで6点を連取、前半と同じく多彩なコンビネーションで得点を量産して10分過ぎには21-14と大きく水をあけ、V4へと快調に突っ走った。北國もタイムアウト後に若松のサイドシュートや仲宗根のカットインなどで懸命に追撃したが、後半序盤の大量失点が最後まで大きくのしかかり、オムロンが東濱、洪らの高さを生かした攻撃とGK藤間を中心とした堅い守りにものをいわせ、レギュラーシーズン1位の貫禄を見せて4年連続14回目のタイトル奪取に成功した。



②大崎電気・東③北國銀行・上町

◆ 3月14日(土) 女子・準決勝 東京・駒沢体育館	◆ 3月14日(土) 男子・準決勝 東京・駒沢体育館	◆ 3月14日(土) 男子・準決勝 東京・駒沢体育館
北国銀行 25 (10-5) リーグ3位 17 クタ九州 リーグ2位	大同特殊鋼 26 (15-7) リーグ1位 21 トヨタ車体 リーグ4位	大崎電気 33 (14-16) リーグ2位 30 湧永製薬 リーグ3位
<2/4> K 下 地 中 島 K 1/1 8/14 上 町 田 中 2/4 1/2 宮 前 工 藤 3/4 2/2 佐久川 亀 山 1/2 2/4 小野澤 高 栖 1/1 1/3 横 嶋 飛 田 K <0/1> 0/3 野路良 橋 口 2/10 1/2 3/8 武 井 佐 師 0/1 K 田 代 飯 田 2/3 3/4 仲宗根 南 K 2/4 野路里 東 1/2 0/1 1/1 井 上 和 田 0/0 0/0 八十島 川 口 0/4 1/1 1/3 若 松 金 城 3/10	1/2 4/10 末 松 木 下 K 0/0 浦 田 中 0/0 3/6 富 田 佐々木 0/0 2/3 地 引 高 智 6/8 7/9 武 田 野 村 3/7 0/0 岸 川 藤 田 0/2 <0/1> K 高 木 北 出 4/4 1/2 李 才 佑 田 平 K <1/3> 0/0 千々波 長 谷 川 2/2 5/8 山 城 鶴 谷 0/4 K 東 香 川 0/2 1/1 1/1 2/5 白 元 喆 崎 前 2/5 0/0 松 永 銘 莜 0/0 0/0 渡 久 川 門 山 3/6	K 浦 和 志 水 K 1/1 小 泽 谷 村 0/2 4/5 前 田 木 村 2/2 2/3 中 川 坂 本 4/7 6/8 永 島 濱 本 0/0 1/2 太 田 福 田 2/4 K 濱 口 岩 永 嘉 0/1 0/4 岩 永 東 3/8 1/1 5/5 東 俊 介 坪 根 K <1/1> 4/8 内 田 新 3/6 3/6 猪 妻 武 藤 6/7 0/1 望 月 松 村 K 7/12 宮 崎 古 家 8/14 0/0 東 佑 三 東 長 濱 1/4
1/1 24/48 11(FPP)2 審判(藤井・大熨) 観客 1954人	2/3 24/43 7(FPP)2 審判(アル・ムタリ、アル・スライム) 観客 2713人	0/1 33/55 5(FPP)8 審判(池渕・檜崎) 観客 3212人

車体、湧永の追撃も及ばず

男子準決勝

3月14日の男子準決勝2試合は、レギュラーシーズン1位の大同特殊鋼と同4位のトヨタ車体、同2位の大崎電気と同3位の湧永製薬が対戦。

大同-車体戦は、チャレンジャー・車体がスタートダッシュで王者・大同にプレッシャーをかけようと試みるも、大同は守護神・高木を軸に強固なディフェンスでそれを許さない。大同はその堅守からの速攻や武田の強打でリードを広げ、前半を15-7と大きくリード。後半立ち上がりも3連取発進で、後半4分18-7と大同が完全に主導権を握った。

しかし、そこからようやく前を狙う積極性を取り戻した車体は、大量リードでやや緊張感が薄れかけた大同を攻め立て、高智、北出による7連取で13分14-18と4点差に急追し、場内は再びヒートアップ。それでも、タイムアウトできっちり修正した大同は、車体に同点、逆転に至るまでの勢いを与えず、26-21と5点差で6年連続となる決勝進出を果たした。

大崎-湧永戦は、前半、内定選手の木村、谷村も思い切ってコートに送り込むなど、新旧の力が1つになった湧永が16-14と2点リードして後半へ。

このままリードを保って終盤を迎えたかった湧永だが、後半開始早々の3分、永島、宮崎の活躍で17-17と同点に追いついた大崎がグイッと加速、11分過ぎからは内田、太田、小澤のスピードあふれる3連打で24-21と試合の主導権を奪った。

湧永もこのプレーオフを最後にチームを離れる往年の守護神・坪根にゴールを託し、懸命の追撃を見せたが、あと一歩及ばず。大崎が3年ぶりのファイナルへと駒を進めた。



ソニーセミコンダクタ九州・樋口



⑤トヨタ車体・北出⑥湧永製薬・武藤

北國がソニーに快勝 女子準決勝

ソニーセミコンダクタ九州と北國銀行が対戦した女子準決勝は、開始2分にソニー・金城が速攻で先制点をあげるが、その後はソニー・飛田、北國・田代の好セーブが光り、ロースコアの展開が続いた。中盤に入ると北國が仲宗根を投入することで流れを変えることに成功、小野澤の速攻を皮切りに5連続得点で波に乗ったのに対し、ソニーは産後約4ヵ月の田中を投入するが、細かいミスに苦しんでペースをつかめず、前半は10-5と北國リードで終了した。後半も北國はエース上町を軸に加点、ソニーも工藤の速攻、樋口の7mスローなどで食らいつくも、セット攻撃で思うように得点できずに苦戦。北國は17分過ぎから退場者が相次ぐなどしてソニーの追撃を許したが危なげない戦いぶりで決勝進出を決めた。



MVP



最高殊勲選手賞に輝いた④高木(大同)⑤東濱(オムロン)

第33回日本リーグプレーオフ表彰一覧

男子

- ・最高殊勲選手賞 高木 尚 (大同特殊鋼) 初
- ・最優秀監督賞 清水 博之 (大同特殊鋼) 2回目
- ・殊勲選手賞 宮崎 大輔 (大崎電気) 2回目

女子

- 東濱 裕子 (オムロン) 初
- 黄 慶泳 (オムロン) 4回目
- 上町 史織 (北國銀行) 初

男子・プレーオフ成績

大同特殊鋼	(通算1位)	26
トヨタ車体	(通算4位)	21
湧永製薬	(通算3位)	30
大崎電気	(通算2位)	33

29 優勝 大同特殊鋼
27 (4年連続13回目)

女子・プレーオフ成績

オムロン	(通算1位)	32	優勝 オムロン
ソニーセミコンダクタ九州	(通算2位)	17	28 (4年連続14回目)
北國銀行	(通算3位)	25	

第33回日本ハンドボールリーグ成績表 レギュラーシーズン日程終了 3月1日

順位	男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	Honda	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差		
1	大同特殊鋼		30 33 ○ ○ 21 26	27 27 ○ ○ 23 23	32 34 ○ ○ 20 30	38 27 ● ○ 18 33	27 38 ○ ○ 23 23	41 29 ○ ○ 25 15	37 36 ○ ○ 19 16	40 32 ○ ○ 20 23	39 41 ○ ○ 23 15	18	17	0	1	34	608	396	212		
2	大崎電気	21 26 ● ● 30 33		27 31 △ ○ 27 22	30 31 ● ○ 32 26	33 36 ○ ○ 28 31	35 27 ○ ○ 33 23	33 36 ○ ○ 21 22	49 38 ○ ○ 22 26	33 39 ○ ○ 21 31	43 45 ○ ○ 23 26		18	14	1	3	29	613	477	136	
3	湧永製薬	23 23 ● ● 27 27	27 22 △ ● 27 31		29 25 ○ ● 28 38	28 32 ○ ○ 26 30	28 27 ○ ○ 21 19	32 33 ○ ○ 18 16	35 34 ○ ○ 25 23	39 36 ○ ○ 20 26	27 41 ○ ○ 17 19		18	13	1	4	27	541	438	103	
4	トヨタ車体	20 30 ● ● 32 34	32 26 ○ ○ 30 31	28 38 ● ○ 29 25		25 23 △ △ 25 23	36 33 ○ ○ 27 29	30 32 ○ ○ 19 23	32 36 ○ ○ 21 25	43 36 ○ ○ 28 19	37 42 ○ ○ 21 19		18	12	2	4	26	579	460	119	
5	トヨタ紡織九州	18 33 ● ○ 38 27	28 31 ● ● 33 36	26 30 ● ● 28 32	25 23 △ △ 25 23		25 30 ○ ○ 25 25	38 28 ○ ○ 32 27	35 38 ○ ○ 19 26	38 44 ○ ○ 19 33	37 36 ○ ○ 22 33		18	11	2	5	24	566	503	63	
6	Honda	23 23 ● ● 27 38	33 23 ● ● 35 27	21 19 ● ● 28 27	27 29 ● ● 36 33	25 25 ● ● 28 30		29 32 ○ ○ 27 31	36 39 ○ ○ 26 31	27 28 ● ○ 28 18	29 30 ○ ○ 23 24		18	7	0	11	14	498	517	-19	
7	北陸電力	25 15 ● ● 41 29	21 22 ● ● 33 36	18 16 ● ● 32 33	19 23 ● ● 30 32	32 27 ● ● 38 28	27 31 ● ● 29 32		34 29 ○ ○ 32 30	29 24 ○ ○ 27 23	23 30 ○ ○ 22 22			18	5	0	13	10	445	549	-104
8	琉球コラソン	19 16 ● ● 37 36	22 26 ● ● 49 38	25 23 ● ● 35 34	21 25 ● ● 32 36	19 26 ● ● 35 38	26 31 ● ● 36 39	32 30 ● ○ 34 29		35 36 ○ ○ 34 29	32 42 ● ○ 35 29			18	4	0	14	8	486	635	-149
9	豊田合成	20 23 ● ● 40 32	21 31 ● ● 33 39	20 26 ● ● 39 36	28 19 ● ● 43 36	19 33 ● ● 38 44	28 18 ● ● 27 28	27 23 ● ● 29 24	34 29 ● ● 35 36		31 26 ○ ○ 19 24			18	3	0	15	6	456	602	-146
10	トヨタ自動車	23 15 ● ● 39 41	23 26 ● ● 43 45	17 19 ● ● 27 41	21 19 ● ● 37 42	22 33 ● ● 37 36	23 24 ● ● 29 30	22 22 ● ● 23 30	35 29 ● ○ 32 42	19 24 ● ● 31 26				18	1	0	17	2	416	631	-215

※上位4チームはプレーオフで順位を決定する。

順位	女子	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	北國銀行	広島メイフルレッス	三重バイオレットアイス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	オムロン		30 29 30 ○ ● ○ 27 31 22	22 25 26 △ ○ ○ 22 23 22	31 34 30 ○ ○ ○ 22 21 24	33 29 30 ○ ○ ○ 18 22 20	36 36 34 ○ ○ ○ 12 14 10	15	13	1	1	27	455	310	145	
2	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 22 ● ○ ● 30 29 30		21 25 29 ● ○ ○ 23 22 27	34 29 33 ○ ● ○ 21 31 29	26 33 27 ○ ○ ○ 21 22 22	34 36 41 ○ ○ ○ 17 17 20		15	11	0	4	22	448	361	87
3	北國銀行	22 23 22 △ ● ● 22 25 26	23 22 27 ○ ● ● 21 25 29		29 28 30 ○ ○ ○ 21 14 26	28 30 24 ○ ○ ● 18 21 30	38 33 40 ○ ○ ○ 14 13 19		15	9	1	5	19	419	324	95
4	広島メイフルレッス*	22 21 24 ● ● ● 31 34 30	21 31 29 ● ○ ● 34 29 33	21 14 26 ● ● ● 29 28 30		22 16 24 ○ ● △ 16 19 24	37 26 28 ○ ○ ○ 22 19 12		15	5	1	9	11	362	390	-28
5	三重バイオレットアイス	18 22 20 ● ● ● 33 29 30	21 22 22 ● ● ● 26 33 27	18 21 30 ● ● ○ 28 30 24	16 19 24 ● ○ △ 22 16 24		26 26 26 ○ ○ ○ 19 21 23		15	5	1	9	11	331	385	-54
6	HC名古屋	12 14 10 ● ● ● 36 36 34	17 17 20 ● ● ● 34 36 41	14 13 19 ● ● ● 38 33 40	22 19 12 ● ● ● 37 26 28	19 21 23 ● ● ● 26 26 26			15	0	0	15	0	252	497	-245

※上位3チームはプレーオフで順位を決定する。4 - 5位は対戦間得失点差による。